

●ガバナー 田中 常浩 ●会長 清川 浩幸 ●幹事 慶徳 拓也 ●コミュニケーション委員長 中村 澄

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2020/

第 2242 回 例会 記 録

《会員卓話例会》

2023 年 3 月 16 日 (木)

点 鐘 12：30

レポート No. 1674



《会長要件》清川会長



皆さんこんにちは、今週も悲しい報告をしなければならなくなりました。南浦項ロータリークラブの金 鍾徳さんが 3 月 5 日にご逝去されました。西村会長年度に国際奉仕委員長として調印式にお越しになった方だそうです。南浦項ロータリークラブと金 鍾徳さんのご遺族に弔電を送りましたことを報告いたします。

今週からマスクの着用は個人の意思を尊重する事になりましたが、感染者数は落ち着いてきていますがまだゼロにはなっておりません。皆さんにはくれぐれもご自愛ください。

ここからは、嬉しい事を報告致します。私達のクラブで交換留学生であり、創立 40 周年には記念講演をして頂き、また、八戸市の親善大使として日本とオーストラリアの架け橋となり、活躍されてきたメラニー・ブロックさんが、昨年 9 月にオーストラリア勲章を受賞されました。金田先生の奥様達が叙勲祝賀会に行ってきたようだと言われ、橋本精二名誉会員から連絡がありました。詳しい内容は後で橋本精二名誉会員が教えてくれるそうです。



今月号のロータリーの友の 40 ページに記事が掲載された、東京調布ロータリークラブの新田重彦会員の著書が限定 500 冊無料で頂けるとありました。著書名は「日本の針路」です。内容は日本の国債のことを書いた本のようなので、私には Facebook で知り申込みを致しましたので、届きましたら報告させていただきます。



《出席報告》出貝委員長

正会員数 31 名。本日の出席は免除会員 7 名を含む 19 名。出席率は 65.5%です。

《結婚記念日》



久保田会員



出貝会員

《幹事報告》伊藤副幹事



・ハイライト米山が届いています。メールしていますがメールのない方にはレターボックスにプリントした物を入れてあります。

・八戸市を緑にする会より「緑と花」が届いています。

・例会変更のお知らせ、八戸東 RC 4 月 21 日 (金) 時間場所変更です。例会場でのメーキャップは受け付けていますが、お出でになる時は事前に事務局までお知らせください。

《ニコニコボックス》西尾委員

清川会長：会員卓話例会です。出貝会員よろしくお願ひいたします。

松田会員：出貝会員よろしくお願ひいたします。

本人誕生日：大橋会員 (2 月)

結婚記念日：久保田会員



《会員卓話》 出員会員



今日は会社の紹介として時間を頂きましたので色々ご紹介させていただきます。

中々私の事をお話する機会がありませんでしたが、この様なお時間を頂き有難うございます。会社の紹介と私自身の紹介ということで資料を作ってまいりました。皆様のお手元にあるものとスクリーンは同じものですが、この資料に沿ってお話を進めてまいります。

1 ページ目に株式会社 E-style のご紹介とあります。会社の名前の由来については後半の方で出てまいりますのでそちらの方で説明させていただきます。2 ページ目、E-style という会社は何をしている会社？とありますが、「外構、エクステリア工事」を行っている会社です。「外構、エクステリア工事」とは何と思われる方もいらっしゃるかと思いますので、写真を交えながらご紹介していきたいと思っております。次のページに「擁壁工事」と書いてありますが、当社で施工した家の写真を見ながら説明していきたいと思っております。「擁壁工事」は土留工事ともいわれ、隣地との間に高低差がある場合に設置します。種類は、現場打ちコンクリート擁壁・プレキャストコンクリート(L型)擁壁・ブロック積擁壁(乾式型)・ブロック積み擁壁とか色々種類があります。次のページの写真を見てください。左側が「現場打ちコンクリート擁壁」で、現場で型枠を作りコンクリートを流し込んで作ります。高低差のあるところは、この様な擁壁を作ります。右側が「プレキャストコンクリート擁壁」で、工場で作った擁壁を並べていく工事です。これも土留工事と言われる工事でもちろん土地の高低差がある時に行います。次のページ「ブロック積み擁壁(乾式型)」と書いてありますが、化粧のブロックを使って高低差をカバーする擁壁です。隣は「ブロック積み擁壁」で、同じブロックですがちょっと工法が違います。乾式型とそうでないものとの違いになります。擁壁の種類ごとに金額も違いますが、見た目も違います。お客様のご要望とかご予算によって決まってくるので、こちらから提案をして見積もりという流れになります。その他として次のページに「石積み」工法を載せていますが、中々ここまでやる方はいらっしゃいません。通常は「コンクリート擁壁」とか「ブロック積み擁壁」と言うのが多いパターンになります。こういった工事をやっています。



次のページ「舗装工事」ということで、一般住宅の外構工事には舗装工事がつきもので、アスファルト舗装とかコンクリート舗装とかインターロッキング舗装とか砂利式舗装というのがありますが、そういったものも施工しています。次のページにそれぞれの写真を載せています。駐車場とか玄関前のアプローチとかに敷いています。基本アスファルト舗装もコンクリート舗装も現場で作るものなので現場で土を掘ったり、石を入れたりして作っていく工事になります。「インターロッキングブロック舗装」と言

うのは、1個、1個のブロックを砂を入れて並べていく工事で、一番手間のかかる工事です。手間のかかるということはお金もかかるということなのですが、提案してお客様のご要望があれば施工させて頂くこともあります。右側は砂利の舗装になりますが、建物の周りとか玄関前、駐車場に敷く方もいらっしゃいます。土のままだと汚く見えますので、きれいに見せるための砂利舗装という感じになります。今は防草シートと言って草の生えにくいシートがありますので、それを下に敷いてから砂利を敷くという工事になります。建物の周りとかですと重機とかが入らないので手掘りでの工事になりますので、中々大変な工事になります。



外構エクステリアと言うのは幅が広くて擁壁工事や舗装工事のほかに、今から説明するエクステリア工事と言うのもあり幅の広いものです。一緒にまとめると土木工事とか造園工事もちよっと入ってきて、土木建設業の部類になるのですが、エクステリアの中にも含まれるカーポートとか物置、フェンスなど凄く種類が多くて、これを選んだりするのも私の仕事ですし、提案するのも私の仕事です。お客様のご要望を聞いて提案するという形の仕事をしています。

エクステリア工事についてこちらも写真を交えて説明していきます。次のページに「カーポート設置」と書いてありますが、よく見る柱と屋根のタイプで、車を止めるところが1台用、2台用、3台用と色々あり、この商品自体はYKKのものだったり、リクシルのものだったり色々メーカーがあり、その中から選定して見積もりを出してやるということになります。この写真に載っているのは3台用の物で、間口が結構広くて7.5mくらいのカーポートになります。カーポートはこの地域では需要が多くて、半分以上のお客様がカーポートを付けます。雪が多いと言うのと雨にも濡れないですし、そういった面で需要が多くなっています。この間もリクシルの販売コンテストで「地域敢闘賞」と言うのを頂いて行ってきました。カーポートとかは青森、北東北は需要が多くてメーカーでもすごく力を入れている商品になります。次の写真は物置です。これはシャッター付きの物で、バイクとか自転車とかを入れるような物置です。通常は引き戸になっていてシャッターはつかないですが、ちょっと特殊なタイプなのでご紹介させていただきました。物置のメーカーもイナバ物置とかヨド物置とか数社ありまして、その中からどれが良いか選んでご提案する形をとっています。お客様自身が色々調べて、これが良いとのご要望を頂くこともありますが、お客様がどの物置を選べばいいのか分からないこともありますので、用途を聞いて坪数なども含めてご提案しています。

次のページ、「フェンスの設置」と「ウッドデッキの設置」です。フェンスも色々種類があって「メッシュフェンス」とか「目隠しフェンス」とかあります。この写真は「半目隠し」で完全な目隠しではありませんが、6割から7割くらい隠れるフェンスになり

ます。これも物によって金額が様々で、これは写真では見えづらいですが木目調のフェンスになっています。表面が木目調になってくると金額も高くなってきますが、こういう物を求められる方にはこのような商品をご提案しています。



「ウッドデッキの設置」です。今だと樹脂製のデッキが主流で、この写真も樹脂とアルミを混ぜた商品です。これも各メーカー色々商品がありますが、お客様のご要望がなければ中々付けられません。こちらで提案しても良いのですが結構金額の張る物なので、お客様のご要望があればウッドデッキを付けることとなります。ご予算に応じて良い物もあれば悪い物（安い物）もあるので、ご予算に応じてご提案させていただきます。

次のページ「ガレージ設置」と「テラス屋根設置」です。この地域はカーポートと一緒にガレージの需要も多いです。雨、雪、風からも車を守るということもあり、ガレージの設置は結構あります。カーポートもガレージも建築物になるので確認申請を取らなければいけない建物になります。しっかり基礎を打って中もコンクリートを打ってやることとなりますので結構金額はかかります。木製のガレージよりは、イナバガレージとか、ヨドガレージとかの既製品の方が安く済むと思います。木造になると高くなってきますので既製のメーカー品、タクボとかもありますけれど、そういった物を選んでやった方が金額的には安くなります。

「テラス屋根設置」ということで写真を載せていますが、これは単純に屋根です。掃き出し窓の所から出たり、この写真はウッドデッキも付いていてウッドデッキの上とかに屋根があると雨が降ったりしても出やすいということもありますし、ここでものを干す方もいらっしやいます。この屋根だけではなくサイドのパネルとか正面のパネルとかも付けられるので、そういったところもお客様のご要望に応じてご提案しております。



次のページ、「ガーデンルーム」サンルームともいわれますが、これはなかなか高いもので定価でも何百万かします。お客様のご要望で付けたいという方がいらっしやれば付けるという形になります。

左側は当社で付けたものですが、これでも 60 万～70 万くらい掛かりました。大きさ的には 2.7 の奥行きが 1.5 くらいだったのですがそれくらいかかりました。右側はカタログから抜粋した写真ですが、これで 200 万弱くらいします。窓が全部折れ戸になっていて、パタパタとたたためてフルオープンになります。これは結構高いもので、リクシルというメーカーが色々な種類を出しています。私どもも 2～3 件はやりましたが、結構高い金額になるのでやりがいも出てきます。こういう物をご希望の方は是非おっしゃっていただければと思います。

次はその他になっていますがアルミフレームとか

スクリーンの設置とかになります。左側はアルミの柱とアルミのフレームで枠を組んで目隠しした物です。高さ的には 2.4m あり中に芝生を敷いたプライベート空間を作ったりしています。これも実際やった現場です。このお客様も目隠しは気にされていて、スクリーンの奥がリビングなものですから目隠しをしたということでした。右側はフレームとパネルですが、近年こういった化粧の背の高いパネルが結構流行っていて、ボードが石目調の物もあれば木目調の物もあつたりで提案しやすくなっていますが、需要はまだまだ少ないのでこれから伸ばしていきたい商品です。左側も右側も目隠しのパネル自体はアルミの複合版で出来ています。木などではないので腐れにくく、錆びもしないので長持ちする物になっています。



次のページ、「シャッターゲート設置」、これは実際私共が設置した現場になります。電動のシャッターが付いていて、高さも幅もある物で四国というメーカーの物です。リモコン一つでシャッターが上がり下がりします。こういった事もやっております。



次のページ「その他の工事」になります。その他の工事は幅が広いので全部は紹介出来ませんが、「その他工事」として人工芝張り、天然芝張り、石張りとか載せています。最近では人工芝の方が多くなって

天然芝の方が少なくなってきました。手入れをしなくてもいいということもあるので、人工芝も最近では種類が増えて来て、ビーアール人工芝といって本物に近いような人工芝がほとんどです。こういった張る工事もやっていきます。次に「乱形石張り」です、玄関前アプローチによく使われます。この写真は白っぽい石を使っていますが、茶色い石とかピンクっぽい石、黄色っぽい石、色々な種類があります。これは自然石ですから 1 枚 1 枚形が違いますので、玄関前のタイルとかとは違って、デザイン的には良いものになります。但し金額は高くなります。

「門壁制作」です。石張りの所の写真にも載せていますが、今だと宅配ボックスを付けたたりポストを付けたたり、表札やインターホンを付ける工事もやっていきます。インターホンとかの電気工事は電気屋さんなんですけれども、壁を作ったりポストを埋め込んだりということをやっております。

その他の「土木工事」、土木工事と言われるとかなり広いので、抜粋して「側溝設置工事」とか「宅地造成工事」とかを載せています。こういった事もしています。「歩道切り下げ工事」は乗り入れできるように歩道を切り下げて車が出入りできるようにするという事もやっていきます。国道とか県道とか市道、町道、そういったところもやっていきます。



弊社のホームページです。先日リニューアルしま

したのでこちらでも紹介させていただきます。資料には載せていませんでしたので画面で開いてみます。こちらがホームページになります。先ほども言いましたが会社名の由来については後で説明しますが、これを見ていただければどういった会社かと言うのが分かっていたかと思うと思います。資料にもお付けしていましたが QR コードを読み込んでいただくと、ホームページ検索をしていただければ詳しく見ることが出来るかなと思います。施工例はリニューアルしたばかりで4軒くらいしか載せていませんが結構お洒落な物も載せています。ちょっと紹介すると、門の周り、玄関前をちょっとお洒落にしたいということでした。土地柄高低差がありましたが結構よく出来た作品です。門の壁を付けてカーポートもあります。ちょっとはね出しして車の出入りとかしやすい様になっています。門の壁には表札を付けてポストを付けて、そういった機能的な物も付けていますし、高低差があり道路の勾配も強かったのも、右から左に向かっての勾配でしたが、玄関前のアプローチですから平らにするようにしています。説明も載せていますが後でゆっくりご覧になって下さい。裏の庭は和室の前になるので和風ぽくしたいとのご要望でしたから、和風に合う平版とか砂利とか植栽を使って和風ぽくしています。夜になるとライトが光りますが、写真を撮った時は周りが暗すぎてよく見えていません。玄関前の階段の所も蹴込をちょっと凹ませてライトを付けてライトアップしています。庭にあるボールライトもいい感じで配置されていて足元だけを照らすという感じになっています。時間も無くなりましたのでホームページの紹介は以上です。

最後に E-style の社名の由来をお話します。会社名には、私の色々な思いが込められています。それはロゴマークの下にも書かれている「Eco&Expert&Excellent」という単語です。E-style の E は Eco (ecology, economy) 環境にやさしいとか経済的、節約という意味があります。Expert と言うのは熟練者とか専門家、Excellent と言うのは、すばらしい、優秀なという意味があるので、この頭文字の E をとって E-style としています。社名の由来の所にも書いてありますが、「外構、エクステリアの専門家だからこそ出来るご提案とサービス」そして「お客様がご納得するクオリティで商品や工事をご提供したい」という思いがあって、これらの単語の頭文字をとって「E-style」としています。今の時代「エコ」でなければならぬし、外構、エクステリア工事は、ハウスメーカーで提案するのではなく、リフォーム会社で提案するわけでもなく、外構、エクステリアの「専門家」がご提案すべきだと思っています。そして、その外構、エクステリア専門業者がご提案し、作るからこそ、「すばらしい」外構、エクステリアになると思っているのも、今の時代のエクステリアスタイルを私たちの手で少しずつ変えていければと思っ、会社名を「E-style」としました。

会社の紹介のほかに時間があれば私の紹介もしたいと思っ、時間もないので、差し上げた資料を見ていただいて、私の事も知っていただければと思っ。

今日はこういう時間を取っていただき有難うございました。会社の事も私自身の事も、今後ともよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。